

項目	内容
名称	カワラヨモギ、インチンコウ [英]Yin Chen、Frogrant Wormwood、Armoise Capillaire [学名]Artemisia capillaris、Artemisia scoparia
概要	<p>カワラヨモギは、東南アジア原産のキク科の多年生草本で、高さ30～100 cm程度に生長する。主に地上部が利用される。日本では花穂・帯花全草が「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に区分されるため、食品に使用することは認められていない。</p>  <p>写真提供: 薬用植物資源研究センター</p>
法規・制度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 食薬区分 <ul style="list-style-type: none"> ・ 花穂、帯花全草：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。 ■ 食品添加物 <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存添加物 カワラヨモギ抽出物 (カワラヨモギ)：保存料
成分の特性・品質	

主な成分・性質	・揮発性油 (33)、クマリン (スコパロン) (29) (33)、クロロゲン酸、コーヒー酸 (101) などを含む。
分析法	・地上部から抽出した精油中の成分をGC法およびGC/MS法にて分析した報告がある (PMID:204280367)。
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトの免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館 (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:204280367) Molecules. 2010 Apr 12;15(4):2600-8. (PMID:28539725) Pharmacogn Mag. 2017 Apr-Jun;13(50):300-308. (101) The Pharmacology of Chinese Herbs 2nd.ed. (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)